

2024 年度弘前大学人文社会科学部・教育学部  
消費者教育推進事業報告書

# 弘前大学における 消費者教育推進事業の展開



弘前大学人文社会科学部・教育学部

2024 年度弘前大学人文社会科学部・教育学部  
消費者教育推進事業報告書

# 弘前大学における 消費者教育推進事業の展開



弘前大学人文社会科学部・教育学部

## はしがき

本報告書は、2024 年度、弘前大学人文社会科学部と教育学部が連携して取り組んだ消費者教育推進事業の成果を整理してまとめたものである。

弘前大学では、消費者教育推進事業の一環として、消費者問題をテーマとする講義の開講や消費者フォーラム in HIROSAKI の開催等に取り組んできたが、これらに加えて、2022 年度から、中学生・高校生のための探究応援プロジェクトを開始し、中学校・高等学校・大学が連携して消費者教育推進事業に取り組む実践モデルを確立することを目指している。2023 年度からは、教養教育課程において金融リテラシーを学ぶ講義を開講し、金融教育の実践に取り組み、消費者教育の枠組みを拡張することを目指している。

本年度は、引き続きこれらの事業を実施し、本学の消費者教育推進事業の新展開を目指した。具体的には、教養教育課程の消費者問題講義、人文社会科学部の専門教育課程の消費者問題講義、教養教育課程の金融リテラシー講義、探究応援プロジェクトを実施し、年度末にはそれらの成果の発表の場として、消費者フォーラム in HIROSAKI を開催した。今回の消費者フォーラムでは、永井雄人氏（特定非営利活動法人白神自然学校一ツ森校代表理事）を基調講演の講師として招待するとともに、青森中央学院大学、弘前中央高等学校、弘前高等学校の協力を得て、生徒たち、大学生たちの研究成果または実践活動の報告が行われた。とくに今回はポスターセッションの充実に努め、従来よりも拡大された形で実施し、大いに盛り上がりを見せた。参加人数も昨年度を上回った。ただし、今回は事情により中学生の参加がかなわなかったことが唯一残念であった。

以下、本報告書にはこれらの事業の成果がまとめられている。消費者教育に関わる関係者のみなさまの参考になれば幸いである。

## 目 次

はしがき

### I 消費者教育推進事業報告

2024 年度消費教育推進事業の概要	1
--------------------	---

### II 消費者フォーラム in HIROSAKI

#### 第 1 部 基調講演

気候変動が白神山地の環境を変える	5
------------------	---

#### 第 2 部 大学生の消費者教育研究成果・実践報告

大学生協の課題～消費者問題の視点から～	15
専業主婦から 500 万円を騙し取った巧妙な詐欺の手口	17
デジタル社会における幼い子どもへの消費者教育	19

#### 第 3 部 高校生の持続可能な社会の実現に向けた探究学習

多くの高校生が気軽にボランティアに参加できる環境づくりをするには	21
土手町リバイバル	23
高校生の持続可能な社会の実現に向けた探究学習（ポスターセッション要旨）	25

弘前大学における消費者教育推進事業の記録（2014～2024 年度）	33
------------------------------------	----

あとがき	37
------	----

## あとがき

弘前大学の消費者教育推進事業は 2014 年度からスタートし、本年度で 11 年目、消費者フォーラム in HIROSAKI は今回で 10 回目である。2012 年に消費者教育推進法が施行されたことをきっかけにスタートした事業だったが、当初は試行錯誤の繰り返しだった。しかし、多くの関係者のみなさまにご支援頂き、少しずつ事業の形が確立していき、このように長きに渡って活動を継続することができた。

しかしながら、全国的に見ても青森県内だけを見ても、消費者教育推進のための取り組みはまだまだ緒に就いたばかりである。本年度は、青森県の予算見直しのあおりを受けて、青森県消費生活センターが主催してきた「学校等における消費者教育推進事業」とその一環として開催されてきた「学生による消費生活フェスタ」が打ち切りとなった。これらの事業には私たちも参画・協力してきた経緯があり、とくに消費生活フェスタは青森県内の大学生の活動を盛り上げるプラットフォームとしての役割を果たしていただけに大変残念であった。これも消費者教育の重要性がまだ社会に十分に浸透していないことから起こった事態であると考えられる。こうした状況を変えるためにも、私たちとしては消費者教育推進のための取り組みを粘り強く続けていきたい。そして、遠くない将来、青森県レベルでの消費者教育推進事業が復活することを願っている。

本年度の事業の実施にあたって、青森県消費者協会、青森県教育委員会、中南地区各市町村の教育委員会、青森中央学院大学、弘前中央高等学校、弘前高等学校、青森県消費者問題研究会を始め、多くの関係者・関係機関のみなさまのご支援を頂いた。深く感謝申し上げるとともに、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げたい。

なお、本事業は、人文社会科学部の教育プロジェクト事業経費および教育学部の学部等戦略経費の助成を受けて実施した。

## 消費者教育推進事業報告書編集委員会

加 賀 恵 子  
加 藤 徳 子  
福 田 進 治  
保 田 宗 良  
林 彦 櫻

2024 年度弘前大学人文社会科学部・教育学部

消費者教育推進事業報告書

弘前大学における消費者教育推進事業の展開

2025 年 3 月 20 日発行

編集・発行者 消費者教育推進事業報告書編集委員会

代表 福田進治

〒036-8560 青森県弘前市文京町 1

弘前大学人文社会科学部内

Tel/Fax: 0172-39-3272

E-mail: shinji@hirosaki-u.ac.jp

発行所

小野印刷

青森県弘前市富田町 52

